

1 徘徊高齢者等の情報連携体制について

愛知県西枇杷島警察署からの報告

認知症高齢者の増加による徘徊高齢者と現場職員への対応の課題。
西枇杷島警察署業務量の増加。

■ 認知症高齢者等の取扱い件数（清須市）

- ① 保護 令和2年中 87件
令和3年9月27日現在 46件
- ② 行方不明 令和2年中 13件
令和3年9月27日 9件

■ 交通事故死亡者数と高齢者の割合

① 愛知県下での比較

愛知県下	一般	高齢者	総数
令和2年	74件	80件(51.9%)	154件
令和3年8月末	24件	44件(64.7%)	68件



② 西枇杷島署管内

西枇杷島署管内	一般	高齢者	総数
令和2年	2件	1件(33.3%)	3件
令和3年8月末	2件	0件(0%)	2件

2 早期発見介入のため対象者と市や地域包括支援センターをつなぐ仲立ちの人の発掘（認知症サポーターの活用）

家族でも認知症の変化には気づきにくい。社会資源が地域の心配な方（認知症）の情報を市や地域包括支援センターに繋げるための体制整備について

○地域ケア個別会議での意見

【令和2年度 第3回（オンライン開催）】

テーマ		介護力の課題
事例①	事例ポイント	今後起こりうるリスクを本人・片付けが出来ない長男に理解してもらうための支援方法
	課題キーワード	日中独居、認知症、認知症理解、住環境(荷物で山積み)、価値観、家族間の関係希薄
事例②	事例ポイント	無関心な家族に対し、認知症の理解を深め介護の協力を繋げていくための支援方法
	課題キーワード	認知症、介護者の孤立、認知症に対する家族間の共通認識、就労と介護、介護ストレス
将来的に必要と考えられるサービス・体制		
<p>【本人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護サービス事業所の協力 ○専門職（医師等）との話し合いの場への家族の参加 ○リハ職の介入 ○介護サービス・インフォーマルサービスを活用し他者との関わり ○口腔機能の維持 <p>【家族】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症に関する理解 ○認知症カフェ・家族介護者交流事業 ○気軽に介護者が参加出来る場の創出 ○認知症ケアパスや著書の活用 ○就労と介護の両立 ○遺産問題 <p>【制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見守りカメラ等の活用 ○権利擁護 		